

# JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第20巻第2号

発行日●2012年8月29日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

## JACS 20周年記念コンファレンスのお知らせ

今年度の消費者行動研究コンファレンスは、春秋とも JACS の 20 周年を記念した特別プログラムで構成されます。後半となる秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。

現在、コーディネーターの守口剛先生（早稲田大学）、清水聰先生（慶應義塾大学）を中心としてプログラムを検討中ですが、海外より 3 名の先生をお招きするなどの企画が予定されています。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましばらくお待ちください。

開催日程：2012年10月27日（土）・28日（日）

開催場所：慶應義塾大学・三田キャンパス（東京都港区）

## 自由論題報告者募集中！

秋のコンファレンスにおける自由論題研究報告の報告者を募集します。

募集の詳細については、JACS Web サイト (<http://www.jacs.gr.jp/>) をご覧ください。

## 第44回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

### <統一論題> 消費者行動研究の現状と課題

去る 2012 年 6 月 2 日、3 日の両日、兵庫県西宮市の関西学院大学において、第 44 回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

今回は 20 周年記念プログラムの前半であり、統一論題報告を皮切りに基調講演 I・II、パネルディスカッション I・II と、1 日目・2 日目に渡って、歴代会長を中心とした議論の場が展開されました。研究黎明期の興味深いエピソードが紹介されたり、現在の研究の方向性についての熱っぽいやりとりが繰り広げられたりと、まさに統一論題どおりの「現状と課題」を再認識する絶好の機会になったかと思えます。

また、今回も数多くの自由論題研究報告があり、充実した議論がなされていました。全体の参加者も 231 名に登り、東京以外の開催地での最多となりました。20 周年を迎えた JACS ですが、今後も、会員のみならずのますます積極的な参加を期待しております。

## —JACS 論文プロポーザル賞優秀賞—

## 「物語論をベースとしたマーケティング・クリエイティブ」

津村 将章(東北大学大学院経済学研究科)

この度は、JACS 論文プロポーザル賞優秀賞をいただき、大変光栄に思っております。審査員の先生方、日頃からご指導いただいております先生方、コンファレンスの運営にご尽力くださった方々に心より御礼申し上げます。

私は修士論文から一貫して、マーケティングにおける物語の活用について研究を行なっております。マーケティング活動における物語の活用といえば、サントリー伊右衛門におけるコミュニケーション活動やディズニールランドにおけるアトラクション構造、Soup Stock Tokyo の企画書など多方面に渡っております。このように、物語の活用の範疇は対消費者のみでなく、企業内においても応用可能だと考えております。

現在の研究は物語が消費者にどのような影響を及ぼすのか、どのような物語がマーケティング戦略において有用であるのかなどについてです。

今回、発表させていただいた研究は「物語論をベースとしたマーケティング・クリエイティブ」です。これまで多くのマーケティング・コミュニケーションにおいて物語型 CM が使われておりました。しかしながら全てが効果的であったということではなく、物語型 CM でも効果の弱い CM も多く見られました。この効果の弱い CM に関して、事前に物語に即したどのような調査を行うべきか、またクリエイティブ案のどの要素に着目し改善すれば良いのかということも分からず、これまでは漫然と調査を行うということが常であった(場合によっては調査を行わないことも)と思われま

本研究では物語型コミュニケーションにおける調査設計の方法論と、具体的にクリエイティブ案においてどの点に着目、変更を行えば目標に到達出来るのかについての調査設計と簡単な調査を行いました。調査

概要としては物語文法、文章理解、物語論の既存研究を元に CM の構造分析を行い、それらのどの箇所がブランド態度や広告態度に影響を及ぼすのかについて、調査を行いました。調査項目としては、物語の理解度、現実性(理論性)、情緒性を柱としました。

調査結果からは物語型 CM において、具体的にどの点を変更すべきであるのかが分かりました。また物語論の概念を応用し、抽出された変更箇所に関してどのような物語に変更するのかについての考察を行いました。今回の研究発表を踏まえ、学術的発展に貢献出来、実用性の高い研究を模索したいと考えております。

今後はマーケティングと物語性を核としながら、物語論、心理学、社会学、脳科学などの先行研究を踏まえ、ブランディング、コミュニケーション、インターナル・マーケティング、地域ブランドに関する研究を行いたいと考えております。

最後に、私がこれまで研究を続けてこれたのも、多くの先生方、研究仲間からのご指導、励ましを頂いてきたからに他なりません。この場をお借りして心より感謝申し上げます。これからも精進してゆきますので、ご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 《編集担当より》

前号に引き続き、昨秋のコンファレンスでの受賞者を紹介いたします。今回は、JACS 論文プロポーザル賞優秀賞を受賞されました津村先生にご登場いただきました。

## 2011 年度決算報告および 2012 年度予算案

2012 年 6 月 2 日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催された会員総会において、2011 年度の決算報告および 2012 年度の予算案が下記のとおり承認・決定されました。ここにご報告いたします。

2011 年度決算報告	
〔収入の部〕	
1. 会費(2011 年度分)	5,835,000 円
学術会員	3,240,000 円
学術学生会員	265,000 円
個人賛助会員	220,000 円
法人賛助会員	1,200,000 円
滞納、超過入金等	910,000 円
2. 学会誌販売	139,390 円
3. 前年度繰越金	24,103,236 円
4. 協賛金	0 円
合計	30,077,626 円

2012 年度予算案	
〔収入の部〕	
1. 会費(2012 年度分)*	6,555,000 円
学術会員	4,500,000 円
学術学生会員	445,000 円
個人賛助会員	260,000 円
法人賛助会員	1,350,000 円
滞納、超過入金等	0 円
2. 学会誌販売	0 円
3. 前年度繰越金	24,240,549 円
4. 協賛金	0 円
合計	30,795,549 円

\* 2012 年 3 月 31 日現在の会員数より算出

〔支出の部〕	
1. 印刷費	540,854 円
ニューズレター	47,040 円
会員名簿	493,814 円
2. 事務費	2,895,125 円
学会誌印刷・発送一式費	1,144,640 円
通信費	539,628 円
Web ホスティングサービス利用費	44,940 円
ホームページ英訳・リニューアル費	0 円
その他	1,165,917 円
3. 事業運営費	1,608,348 円
コンファレンス開催費(開催校補助費)	400,000 円
学会誌作成費(査読謝礼費)	399,165 円
国際交流事業費	0 円
20 周年記念事業費	0 円
ワークショップ開催費(開催補助費)	320,000 円
広報活動費	400,000 円
その他	89,183 円
4. 予備費(出版システム開発費)	792,750 円
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	24,240,549 円
合計	30,077,626 円

〔支出の部〕	
1. 印刷費	350,000 円
ニューズレター	100,000 円
会員名簿	250,000 円
2. 事務費	4,650,000 円
学会誌印刷・発送一式費	3,000,000 円
通信費	400,000 円
Web ホスティングサービス利用費	100,000 円
ホームページ英訳・リニューアル費	150,000 円
その他	1,000,000 円
3. 事業運営費	6,650,000 円
コンファレンス開催費(開催校補助費)	400,000 円
学会誌作成費(査読謝礼費)	450,000 円
国際交流事業費	2,500,000 円
20 周年記念事業費	2,000,000 円
ワークショップ開催費(開催補助費)	500,000 円
プロポーザル賞賞金	500,000 円
広報活動費	300,000 円
4. 予備費(出版システム開発費)	1,000,000 円
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	18,145,549 円
合計	30,795,549 円

上記の通り報告いたします。  
上記の報告を適正なものと思えます。

事務局担当理事 新倉 貴士 印  
監 事 桑原 武夫 印

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**●入会資格****[学会会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

**[賛助会員]**

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円  
法人会員 1 口 50,000 円

**●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●**

(事務局) 法政大学 経営学部 新倉研究室  
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
Email: niikura@hosei.ac.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (IBM 内)  
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>